

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼夜間部		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	言語聴覚障害診断学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	後期 6,7限他	教室名	401他
担 当 教 員	浜田 広幸 西根 清夏	実務経験とその関連資格	(浜田) 社会医療法人栄公会グループにて言語聴覚士としてリハビリテーション業務に従事していた			
《授業科目における学習内容》						
言語聴覚障害における評価・診断の理念及び過程について学ぶ						
《成績評価の方法と基準》						
言語聴覚障害における評価・診断の理念及び過程について学ぶ						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
授業は資料を配布し、PCスライドで授業を行う、また適宜グループワークや検査練習を行う 参考図書: 言語聴覚士テキスト 第4版ー 医歯薬出版株式会社 参考図書: 標準言語聴覚障害学 言語聴覚療法 評価・診断学 医学書院						
《授業外における学習方法》						
事後学習として、授業内で配布される資料や実施される各種検査を適宜見直し知識の定着に努めて下さい						
《履修に当たっての留意点》						
言語聴覚障害における評価・診断の重要性について理解し、学習に取り組んで下さい						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	初診時の臨床活動の流れが説明できる		・PCスライド ・配布資料	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	言語聴覚療法における評価・診断について学ぶ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	スクリーニング検査の役割、及び感覚系の概要について理解し、各種検査の概要について説明できる		・PCスライド ・配布資料	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	スクリーニング検査の重要性、及び自覚的検査と他覚的検査について学ぶ			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	オープンクエスチョンとクローズドクエスチョン、及び各精神物理学的測定法について説明できる		・PCスライド ・配布資料	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	刺激と反応、及び感覚測定法(精神物理学的測定法)について学ぶ			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚閾値の基本的な定義、及び認知情報処理、高次脳機能の概観について説明できる		・PCスライド ・配布資料	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	閾値の概念、及び認知情報処理について学ぶ			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	観察記録の内容や方法、及び検査の流れや検査環境について説明できる		・PCスライド ・配布資料	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	観察と観察記録、及び検査の流れや検査場面の枠組みについて学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	各種知能検査の概要について説明できる	・PCスライド ・配布資料	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	対象者の検査について学ぶ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	評価や診断の目的について説明できる	・PCスライド ・配布資料	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	言語聴覚診断学について学ぶ		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	評価・訓練内容について理解し、説明することができる	・PCスライド ・配布資料	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	コミュニケーション訓練までの臨床的な流れについて学ぶ		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	対象者の観察方法について理解し、説明することができる	・PCスライド ・配布資料	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	対象者の観察方法(概要)について学ぶ		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	初回面接・スクリーニングのポイントについて説明できる	・PCスライド ・配布資料	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	初回面接・スクリーニングの進め方について学ぶ		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	スクリーニングにおける具体的項目について説明できる	・PCスライド ・配布資料	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	対象者の観察方法(具体的項目)について学ぶ		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	初期評価の役割について説明できる 情報収集での留意点について説明できる	配布資料 パワーポイント資料	特になし
		各コマにおける授業予定	初期評価の目的と役割について学ぶ 問診と情報収集について学ぶ		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	各検査の適用範囲と大まかな評価項目を理解し、説明できる	配布資料 パワーポイント資料	特になし
		各コマにおける授業予定	検査の種類と概要、検査の選択について学ぶ		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	各検査の使用方法を知り、検査結果の事例から児の発達像をつかむことができる	配布資料 パワーポイント資料	特になし
		各コマにおける授業予定	事例に基づく演習～発達検査と知能検査～ 演習(遠城寺乳幼児分析的発達検査法、新版K式発達検査、WISC-IV知能検査)と評価のまとめを学ぶ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	各検査の使用方法を知り、検査結果の事例から児の発達像をつかむことができる	配布資料 パワーポイント資料	特になし
		各コマにおける授業予定	事例に基づく演習～言語検査～ 演習(国リハ式<S-S法>言語発達遅滞検査、PVT-R 絵画語い発達検査)と評価のまとめを学ぶ		